

目標達成計画

作成日: 令和8年3月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	家族との外出、外泊等の要望も少なく、馴染みの人や場との関係継続支援の機会を増やしていく必要がある	常に地域に開かれたホームであることを発信していく	<ul style="list-style-type: none"> ホーム内での行事の参加を呼び掛ける 地域行事への参加を積極的に行う 家族への協力、理解を得る 	12ヶ月
2	40	今回、評価機構の方が昼食を摂られた際、副食の魚がよくほぐれなかったとの情報を得た。提供する前に試食し、確認を行い問題があれば業者に伝えていく必要がある。	美味しく食事を摂れるよう支援していく	<ul style="list-style-type: none"> 食事を提供する前には、必ず試食をし確認を行う ご利用者様にとって食べにくい食材(堅い、味が濃い薄い)などがあつたら、ただちに記録に残し業者に連絡し、改善を求める。 	3ヶ月
3	49	認知症の進行、意欲低下、重症化に伴い、外出の機会が減少してきている。今後はご利用者の体調や希望を考慮しながら、外出の機会を増やしていく必要がある。	季節ごとの外出の他、概ね一カ月に一回程度は、どのご利用者も施設周辺の散歩が出来る。	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援の企画書を作成し、職員全員で協力していく。 利用者の健康管理をしっかり行いながら、目標を立て計画的に実行していく。 家族の協力、理解を得る 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。